

# 地域おこし協力隊 活動報告

---

文化芸術振興部門 / 野津原地域

泊麻未

## 発表内容

- 1 自己紹介と任務内容
- 2 活動報告
  - ①アートレジオン関係（ミッション）
  - ②フリーミッション
  - ③連携活動・その他
- 3 個人活動
- 4 今後について

# 1 自己紹介と任務内容

# 自己紹介



泊麻未 (とまりあさみ)

- 1993年12月11日生まれ、宮崎県出身。
- 東京の大学を卒業後、ニューヨークへ1年ほど滞在。現地の美術館やギャラリー、美術系大学、シェアアトリエ、若手アーティストのコミュニティを巡りながら、**アートを通じて形成される地域コミュニティの場**を目の当たりにする。
- 帰国後、東京と宮崎を中心に「トマリアサミ」としてアート活動を行いながら、**地域アートを経験できる場所**を探していたところ、大分市の旧校舎アトリエの存在と協力隊募集を知る。
- 令和2年7月1日より協力隊として野津原に移住。

# 任務内容

泊 麻未 (とまり あさみ) 隊員



- 令和2年7月1日 着任
- 文化振興課 所属
- 文化芸術振興部門

1. アートレジオン推進事業に関する業務 (アトリエを始め旧校舎全体の管理、ワークショップの講師、アトリエ利用者や地域住民との連絡調整など)
2. アートのスキルを活かした地域活性化の企画・支援

文化芸術振興部門 文化振興課 所属

勤務先：ななせアートスタジオ  
(旧野津原中部小学校アトリエ)

- 任務①** アートレジオン推進事業に関する業務
- ・アトリエを始め旧校舎全体の管理
  - ・ワークショップの講師
  - ・アトリエ利用者や地域住民との連絡調整など

→アートレジオン関係 (ミッション)

- 任務②** アートのスキルを活かした地域活性化の企画・支援

→フリーミッション

▲大分市HP  
協力隊紹介ページより

## アートレジオン推進事業とは

大分市HP  
アートレジオン推進事業の  
ページより一部抜粋

人口減少や少子高齢化が進む**周辺地域**に**市内外からアーティストを呼び込み**、アートイベントや制作活動を通して**文化芸術の振興**を図るとともに、**地域住民との交流を促進**することで**地域の活性化**につなげる。



### 事業の2本の柱

#### アーティストの移住・定住促進

地方への移住を考えているアーティストに対して、本市へ興味をもっていただくための各種取組を推進することで、潜在的な移住希望者の掘り起しを図る。また、**地域おこし協力隊と連携・協力を図り、任期後の定住につなげる。**

#### アートイベント開催による地域の活性化等

アーティストと**地域が連携したアートイベントを開催し、市内外から参加してもらうこと**で文化芸術の振興・地域の活性化を図る。また、佐賀関地区の旧大志生木小学校と野津原地区の旧野津原中部小学校の校舎一部をアトリエとして活用するとともに、**地域とアーティストとの交流拠点とする。**

## 2 活動報告

# 任務①アートレジオン関係（ミッション）

## アートレジオン推進事業に関する業務

- ・令和3年8・9月 「のつはるアートコレクション」ディレクション
- ・令和4年1月 「だいなんアートコレクション」サブディレクション・準備
- ・令和4年2月 野津原こどもアート学校中止分のアートキット配布
  
- ・公式SNSでの情報発信
- ・アトリエ管理(アトリエ利用者や地域との連絡調整)



# 「のっはるアートコレクション」ディレクション (令和3年8・9月)



- 野津原全域に芸術作品を設置する周遊型展覧会。
- アーティストと地域が「はじめまして」、地域外から野津原にやってくる人に「はじめまして」、作品が設置されたいつもと違う野津原の景色に「はじめまして」という意味を込めて「ハロー、のっはる」を全体のキャッチコピーに。



# 「のつはるアートコレクション」ディレクション

(令和3年8・9月)



▲メディア向け記者会見



▲地域の方へ、アートコレクションの楽しみ方を解説する講座



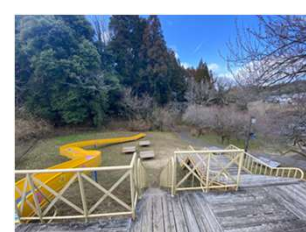
▲来場記念グッズ。野津原地域の協力隊藤丸隊員による野津原の写真と、泊のイラストのコラボ。

※地域外の方、アートファンでない方、地域住民の方にも楽しんでもらえることを意識



▲制作の様子やコンセプトについて取材した動画を制作。作品の深堀りを楽しんでもらうことと、コロナ禍で実際に周遊できない方に鑑賞体験をしてもらう目的。

# 「だいなんアートコレクション」サブディレクション・準備 (令和4年1月~)



メインディレクター  
と共に  
作品設置可能場所の  
視察へ

- ・だいなんアートコレクションの作品設置可能場所の調査
- ・チラシ、ポスターデザイン
- ・参加アーティストとの連絡調整 など

令和4年夏  
開催予定

# 野津原こどもアート学校中止分のアートキット配布

(令和4年2月)



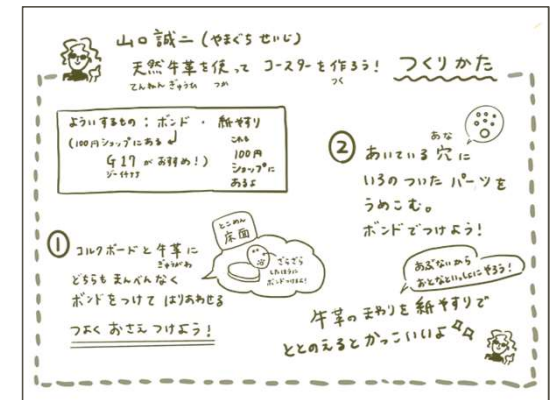
野津原こども  
アート学校中止により  
アーティストの  
ワークショップ中止



キット型に作り直し  
参加予定者に配布することに



同封する  
プロフィールや  
説明書を  
作成するサポート



# 公式SNSでの情報発信

「大分市旧小学校アトリエ公式」フェイスブック、ツイッター、インスタグラムで情報を発信。



▲ イベントの告知



▲ アーティストの活動



▲ イベントレポート



▲ アートレジオンに  
関わる協力隊の紹介



令和3年4月  
から  
令和4年3月  
まで  
34記事投稿

今年はアートレジオンのイベント告知やレポートが中心となってしまった。来年度はアトリエの様子や日常の地域交流を伝える記事も積極的に投稿したい!

【フォロワー (令和3年3月→令和4年3月)】  
フェイスブック 48→63  
ツイッター 38→45  
インスタグラム 84→126

## FOLLOW US

### 大分市旧小学校アトリエの SNS

ななせアートスタジオ (旧野津原中部小学校) と おおじゅうきアートスタジオ (旧大志生木小学校) のアトリエの様子やイベントの情報を更新しています。



フェイスブック



@大分市旧小学校アトリエ

ツイッター



@artregion\_oita

インスタグラム



@artregion.oita

## アートレジオン推進事業関連 今後の予定

### ● 「第4回 開校！野津原こどもアート学校」

→令和3年分はコロナで中止に。地域とアトリエの交流のきっかけとなる大切なイベント。

### ● 「だいなんアートコレクション」 令和4年8月・9月開催

→「おおじゅうきアートスタジオ」と「ななせアートスタジオ」利用者による大南地域を舞台とした展覧会。サブディレクションとしてサポート。

## 任務② フリーミッション

アートスキルを活かした地域活性化の企画・支援

- ・ 令和3年8月～ ランチルームギャラリー整備
- ・ 令和3年12月 「のつはるぬりえ」プロジェクト
- ・ 令和4年2月 「出前アート倶楽部」(試用運用)
- ・ 令和4年3月 地元小学生へアートキット配布
- ・ 令和4年3月 「2日間のななせ美術館」
- ・ 講演会、アート講座等
- ・ その他

# ランチルームギャラリー整備（令和3年8月～）

①



令和2年7月

換気扇のきれいな3色が印象的なランチルーム。丁寧に使われていたことを感じる温かい場所です。

②



令和3年3月

地域やアトリエ利用アーティストにお手伝いいただきながらピクチャーレールを設置し、壁の一部を塗装。「第2回開校！野津原こどもアート学校」では2名の美術家の作品を展示しました。

③

令和3年8月

スポットライトとフロアシートで、展示室に近づいてきました。



④

令和4年3月

今後も楽しくアートをお届けする場として活用を進めていきます。



アトリエ利用  
アーティストも  
お手伝い



旧校舎の一番広い部屋  
「ランチルーム」。

「中心街の美術館まで行くことが難しい」という地域の声を聞き、地域にアートをお届けられるギャラリーに。アトリエ利用アーティストや地域と協力しながらDIYで手作り。

今後は展示会やワークショップなど、**アートを通じた地域交流の場**となるよう活用予定。



# 「のつはるぬりえ」プロジェクト

(令和3年12月)

野津原地域で活動する作家を掘り起こすと共に、  
 アートを通して野津原をPRする試み。  
 地域おこし協力隊含む6名の作家による「ぬりえ」が完成した。  
 野津原PRブースやアートイベントなどで来場者に配布を行った。



地域の方が  
 塗ったもの▶

- 小野 宏美 × ななせダム
- トーコ × のつはる天空広場
- michiru.art × 今市石畳
- むらたきよし × ホタル
- 藤丸 淑美 × 豊の七瀬柿
- 泊麻未 × 野津原の特産

<p><b>ホタル</b> のつはるぬりえ</p> <p>野津原地区では、5月下旬～8月下旬にホタルの観察ができる。        観察できるのは、高尾川(大学入敷)、太田川(大学上流)、七瀬川(大学下流)。</p>  <p>ぬりえの作者 ▶ むらたきよし</p> <p>このホタルは、野津原産のホタル。ホタルの幼虫は、川に産み落とされ、川に流れて成長する。成長したホタルは、川に飛び出し、光を放ちながら飛ぶ。ホタルの光は、夜を照らす。ホタルの光は、野津原の夏の風物詩。ホタルの光は、野津原の夏の思い出。ホタルの光は、野津原の夏の宝物。</p>	<p><b>ななせダム</b> のつはるぬりえ</p> <p>大分県東七瀬川の山腹に210mの位置、大分県大学下野津原地区にあるダムの型式はロックアップダムで、中心から右岸・フィルダール・ロックゲートと呼ばれる土や岩石を積み重ねて建設された。</p>  <p>ぬりえの作者 ▶ 小野宏美 (6/6/04)</p> <p>野津原 大分県東七瀬川に210mの高さの山腹に210mの位置、大分県大学下野津原地区にあるダムの型式はロックアップダムで、中心から右岸・フィルダール・ロックゲートと呼ばれる土や岩石を積み重ねて建設された。</p>	<p><b>のつはる天空広場</b> のつはるぬりえ</p> <p>ななせダム(ななせダム)の直下に遊歩道上土(コア)を建設したこの遊歩道を活用して来た広場。自然に恵まれた景観を活かし、スポーツだけでなく、音楽イベントなどにも利用できる施設。</p>  <p>ぬりえの作者 ▶ トーコ</p> <p>この広場は、ななせダム(ななせダム)の直下に遊歩道上土(コア)を建設したこの遊歩道を活用して来た広場。自然に恵まれた景観を活かし、スポーツだけでなく、音楽イベントなどにも利用できる施設。</p>
---	---	--

<p><b>今市石畳</b> (いまいちしたみ) のつはるぬりえ</p> <p>野津原町内を流れる豊の七瀬川は歴史ある川で、昔ながらの石畳が美しい。1980年代には、豊の七瀬川を流れる川の水質が汚染されていた。現在は、水質がきれいになり、川の水がきれいになった。川の水がきれいになった。川の水がきれいになった。</p>  <p>ぬりえの作者 ▶ michiru.art 立川みちる</p> <p>野津原町内を流れる豊の七瀬川は歴史ある川で、昔ながらの石畳が美しい。1980年代には、豊の七瀬川を流れる川の水質が汚染されていた。現在は、水質がきれいになり、川の水がきれいになった。川の水がきれいになった。川の水がきれいになった。</p>	<p><b>野津原の一村一品</b> のつはるぬりえ</p> <p>野津原は伝統的な秋の味覚「豊の七瀬柿」は刀種早生(とねわせ)という品種の名産品。毎年9月～10月、収穫がえる用いて流を流すことで、豊な甘さももちろ、とてな甘さのいい柿になる。種が少なく食べやすい品種。</p>  <p>ぬりえの作者 ▶ 泊麻未 (6/6/04) 大分県産物おこし協力隊</p> <p>野津原を代表する秋の味覚「豊の七瀬柿」は刀種早生(とねわせ)という品種の名産品。毎年9月～10月、収穫がえる用いて流を流すことで、豊な甘さももちろ、とてな甘さのいい柿になる。種が少なく食べやすい品種。</p>	<p><b>豊の七瀬柿</b> (とよのなせがき) のつはるぬりえ</p> <p>野津原を代表する秋の味覚「豊の七瀬柿」は刀種早生(とねわせ)という品種の名産品。毎年9月～10月、収穫がえる用いて流を流すことで、豊な甘さももちろ、とてな甘さのいい柿になる。種が少なく食べやすい品種。</p>  <p>ぬりえの作者 ▶ 藤丸淑美 (6/6/04) 大分県産物おこし協力隊</p> <p>野津原を代表する秋の味覚「豊の七瀬柿」は刀種早生(とねわせ)という品種の名産品。毎年9月～10月、収穫がえる用いて流を流すことで、豊な甘さももちろ、とてな甘さのいい柿になる。種が少なく食べやすい品種。</p>
--	---	---



# 地元小学生にアートキット配布（令和4年3月）



50キット配布しました

体験型アートスペース 当日随時参加可能（材料に限りがあります）



## 「ゆるねこのプラ板ストラップ制作」

ゆるねこのイラストを使った、プラ板ストラップを作ろう！

イラストレーター 橋本拓耶



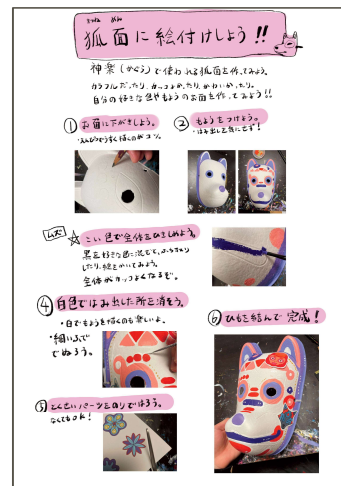
## 「オリジナルお面作り」

好きな模様を描いたり、目や角、牙などのパーツを組み合わせて、カラフルなお面を作ろう！

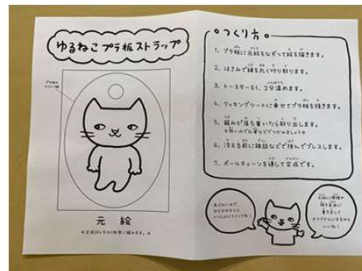
アーティスト 山中智郎



中止のためキット型へ作りかえ



おうちでも気軽に  
取り組めるように、  
分かりやすい説明書  
を加えたキット。



・令和3年夏に開催予定だった「野津原こどもアート学校」。来場者が事前申込みなしで楽しめる「体験型アートスペース」のために大分で活動する若手アーティストがワークショップの準備を進めていたがコロナで中止。



・こどもたちのアート体験やおうち時間の充実につながればと、野津原小学校ご協力のもと、キット型にして配布。

# 「2日間のななせ美術館」 (令和4年3月)



- ・「ランチルームギャラリー」で竹田市の作家2名による展示
- ・アトリエ見学

※同時開催「暮らすひと暮らすのつはる」(藤丸隊員による写真展)

→旧校舎活用の様子を地域の方へ報告





アーティストのアトリエ見学もできます♪

〈同時開催〉  
協力者の取材などで撮影された  
野津原の暮らしや人の写真展  
「暮らすひと  
暮らすのつはる」  
地域おこし協力隊野津原地域  
地域活性化部門 第九

## 2日間の ななせ 美術館

入場  
無料

旧小学校校舎を活用したアトリエの一角で  
期間限定の美術館がオープン

2022年3月12日(土) 10:00~16:00  
13日(日) 10:00~14:00

ななせアートスタジオ(旧野津原中部小学校)  
大分市竹矢 2108-1



森山 楓  
竹田市・画家



山田 俊吾  
竹田市・陶芸家

プレゼント!  
期間限定

- のつはるぬりえ
- 野津原  
オリジナル  
グッズ

ランチルーム  
ギャラリー担当  
大分市地域おこし協力隊  
野津原地域アート部門 点

お問合せ:097-537-5663(大分市文化振興課)  
担当:池(大分市地域おこし協力隊)



## 「2日間のななせ美術館」 (令和4年3月)

12日(土) 150名  
13日(日) 110名  
計 260名

▼アンケートデータ(74枚)

野津原から 38名  
野津原外から 36名

地域内外から多くの方が  
来場され、好評いただきました。



## 講演・アート講座

【講演】 ①学生インターンシップ地域活力創生班視察 ②ゴム連合九州地区協議会 ③大分県立大分西高等学校など

【アート講座】 ④原村ふれあいサロン ⑤野津原公民館講座など

①



②



③



④



⑤



## 連携活動・その他

- ① 令和3年10月 小学生×商工会×道の駅「のつはるきせつクッキー」パッケージ・PRマンガ作成
- ② 令和3年10月 「のつはる音の森フェスティバル2021」野津原PRブース
- ③ 令和3年9月～令和4年3月 研修「旅する学校おおいた」（大分県商業・サービス業振興課主催）



②



③



# 3 個人活動



# 個人活動

## 【アート】

- ・令和3年9月 個展「サマトピア」@アートプラザ
- ・令和3年11月 つながるホルトアートスクール(ライブペイント・ゲスト講師)@J:COMホルトホール大分
- ・令和3年2月 torimu ART(トリムアート)作品展示販売会参加 @トキハ本店
- ・令和4年1月～4月 展示「美術館がやってきた」@三浦造船佐伯図書館
- ・令和4年2月 壁画制作 @hiroちゃんHouse(野津原)
- ・令和4年3月 アミュプラザおおいた7周年「にじいろプロジェクト」  
北村直登presents ASSOART~アソートするアート~ ライブペイント参加 @大分駅前広場

## 【デザイン】

- ・令和4年3月 高崎山自然動物園開園70周年記念キャッチフレーズロゴ制作

## 【映像ディレクション・編集】

- ・令和3年11月 大分ふるさとCM大賞Vol.19 大分市バージョン30秒CM制作

# 個人活動【アート】

- ①令和3年9月 個展「サマトピア」@アートプラザ
- ②令和3年11月 つながるホルトアートスクール（ライブペイント・ゲスト講師）@J.COMホルトホール大分
- ③令和3年2月 torimu ART(トリムアート)作品展示販売会参加 @トキハ本店
- ④令和4年1月～4月 展示「美術館がやってきた」@三浦造船佐伯図書館
- ⑤令和4年2月 壁画制作 @hiroちゃんHouse（野津原）
- ⑥令和4年3月 アミュプラザおおいた7周年「にじいろプロジェクト」  
北村直登presents ASSOART~アソートするアート~ ライブペイント参加 @大分駅前広場

①



②



③



④



⑥



⑤



## 個人活動【デザイン・映像】

### 【デザイン】

- ・令和4年3月 高崎山自然動物園開園70周年記念キャッチフレーズロゴ制作

### 【映像ディレクション・編集】

- ・令和3年11月 大分ふるさとCM大賞Vol.19 大分市バージョン30秒CM制作

CMに参加した方を対象にした上映会



## 4 今後について

## 協力隊としてどのような2年目だったか

・例年のアートイベントはコロナで中止になったが、旧校舎活用を見ていただく「2日間のななせ美術館」では周辺地域や卒業生を中心とした多くの方々に来場いただき、地域の団体に合ったアート体験を提供する「出前アート倶楽部」のお試し運用では対象団体の方々にアートに触れる時間を体験していただいた。

→1年目で地域の方々と交流して感じた野津原地域に合う

「アートを通じた地域活性化」をひとつずつ具現化。

・アートレジオン推進事業による「のつはるアートコレクション」では、野津原で活動してきたからこそその繋がりや、アーティストだからこそその視点でディレクションを行うことができた。

→行政や芸術機関だけではなかなか行き届かないアトリエと地域の交流促進や、

アート性と地域性を加味した企画の提案。

・デザイン業務やアーティストとしての展示の機会が増えた。

→卒業後に繋がる活動。

## 今後について（協力隊として個人として）

- 協力隊として

地域に残すものを意識。（システム、空間、空気感、イラスト素材）

- 個人として

1. アートを入口にした

地域コミュニティの場をつくりたい！  
という目標に向けて準備を進める。

（例）シェアアトリエ、アート講座の場所、ギャラリーカフェ等

2. 講師やアーティストとしての活動も行う。

地域PRグッズの  
ステッカー▶



最後までご清聴ありがとうございました



野津原地域での壁画制作